

事業番号	事務事業名	山村都市交流事業費	所管課名	産業観光課	令和 3 年度課長名	小椋 正己
04365	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	産業観光課	担当者・シート作成者	石田 和之
	施策名	25 観光の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町外からの鏡野町来客数の上位を占める岡山市、倉敷市、及び大阪府、兵庫県内を中心とした県外における単町や県等他団体、北おおさか信用金庫と連携した観光物産展の開催等を通じて、鏡野町の魅力をPRする。	旧町村単位で行っていた都市部との交流事業を合併後統合し、町としてのPR戦略の元、大阪府内摂津水都信用金庫(現北おおさか信用金庫)での物産展や茨木市にある鏡野町アンテナショップでのPRイベント等を実施してきた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 都市部観光客	ア 京阪神地域人口	千人	見込 実績	16,957 16,957	16,957 16,957	16,957 16,957	16,957	16,957
イ 都市部観光客	イ 県南地域人口(岡山市、倉敷市)	千人	見込 実績	1,200 1,190	1,200 1,190	1,200 1,190	1,200	1,200
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 鏡野町内への観光客数の増加	ア 近畿地方からの観光客数(県全体)	千人	目標 実績 達成率	4,000 3,527 88.2%	4,000 2,453 61.3%	2,800 2,069 73.9%	3,200	3,200 64.7%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 物産展への参加	ア 物産展参加回数	回	目標 実績 達成率	25 23 92.0%	25 0 0.0%	5 4 80.0%	10	10 40.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 07		項 01		目 03		中事業 06		予算上の事業名			事業番号
	一般会計		商工費		商工費		観光費		03 06		山村都市交流事業費			
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	04365
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源	1,896	1,034	1,302	1,306	1,306	268	一般財源	1,357	555	1,247	1,306	1,306	692	
合計	1,896	1,034	1,302	1,306	1,306	268	合計(A)	1,357	555	1,247	1,306	1,306	692	
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	60	60	60	60	60		
							人件費計(千円)(B)	210	201	201	205	205	0	
	最終予算額		1,302 千円		予算執行率		95.7%	トータルコスト(A+B)	1,567	756	1,448	1,511	1,511	692
主な 支出事業内容 (予 算)	旅費				129 千円		主な 支出事業内容 (決 算)	旅費				91 千円		
	需用費				355 千円			需用費				338 千円		
	役務費				792 千円			役務費				792 千円		
	使用料及び賃借料				30 千円			使用料及び賃借料				28 千円		

事業番号	04365	事務事業名	山村都市交流事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症や不安定な気象による災害等、様々なリスクが高まっており、そうした要因を踏まえた上で、行政と民間が一体となったPR活動が重要である。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
越畑ふるさと村やアンテナショップ等、町主催物産展の会場、時期、回数の検討、参加場所の立地、客層、開催時期に合わせた観光宣伝の展開。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
関西圏の消費者やイベント来場者、イベント会場からは物産展の継続、拡大を望む声が大い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 都市部の潜在的な観光客に対し直接的な観光PRを行えるため鏡野町への誘客に効果が認められる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 販売益が見込めないものであっても、PR効果が認められる物産展においては町の関与が必須となる。今後はコスト低減や販売益の見込める物産展等を増やしていく必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 鏡野町の観光資源や素材、立地、交通の便を考慮し、最も効果的な対象を設定している。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 町外へのPRは、一体的なPR・プロモーションを実施しているが、今後は自然アクティビティを中心とした滞在型の観光素材を強化しながら、鏡野町への誘客による消費拡大に繋げることが必要と思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 特産品や加工品、新商品販売、試験の機会等、町外の消費者に直接PRする場を失うこととなる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 当事業に新たな手段を付加し、成果を向上することは考えられるが、当事業の手段においては改善余地がない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 会場使用料、搬入出方法、車両の見直しによる事業費の削減には余地がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 観光協会等関係団体への一部業務委託を進め、職員に係る人件費の削減を進めている。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 コストを加味しながらより来場者数の得られる会場を選定しており、受益者は公平と思われる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症の影響により、ふるさと物産展等の交流事業は中止となったが、アンテナショップでのイベントは現地スタッフのみでの開催も含め、4回開催できた。健康の町ががみのプロモーション本部が中心となり徐々に効果的な発信ができつつあるが、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた事業展開が必要になっており、新しいPR・プロモーションの検討が必要である。																							
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 町主催もしくは町が連携したイベント以外の物産展においては参加目的を明確にし、目的やコストを踏まえて行政関与を適応すべきと思われるが、新型コロナウイルスの影響により民間活力が低下傾向にあり、より一体的な取り組みが必要だと感じる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																								
上記改善案の実施においては、町全体として観光または農産業等への波及効果を考慮し、将来的には観光地域づくり法人が中心となり、ファン拡大に繋がる戦略的なアプローチ等が必要と思われる。																								